

19.3期第3四半期は前年同期比増収増益を達成

～ 中国経済減速に伴い、建機メーカー各社の生産計画は慎重姿勢 ～

ヤマシンフィルタ株式会社
2019年3月期 第3四半期
決算説明資料

東証一部

6240

2019年2月4日

I ■ 2019年3月期第3四半期実績及び通期見通し

P3

II ■ 建機市場を取り巻く環境

P31

III ■ 今後の戦略

P37

19.3期第3四半期における事業環境・当社取り組みについて

事業環境

- ・ 米中貿易摩擦の影響により中国経済失速
- ・ 中国経済の先行き不透明感により、主要得意先日系メーカーは新車生産計画を修正、一時的な補給品在庫持ち高調整を実施
- ・ 今後の財政政策の動向がポイント



当社取り組み

- ・ 建機メーカーの補給品在庫の持ち高調整に伴い売上高は一時的に停滞するも、建機用フィルタを主軸に新素材やIoT技術を活かしたラインナップの充実を図った
- ・ PAC18目標達成に注力。第3四半期までの原価累計目標値2億円に対し、削減実績2.2億円（年間進捗率60%）まで改善

19年3月期第3四半期業績動向

- ・ 売上高は得意先建機メーカーの補給品在庫調整はあったものの、前年同期比10.0%増収の10,589(百万円)となった
- ・ 売上総利益はPAC18による原価削減努力により前年同期比12.7%増益の4,998(百万円)
- ・ 営業利益は在庫増加、販管費の上昇等あったものの、上記増収効果、PAC18の効果もあり前年同期比5.0%増益の1,597(百万円)



I
2019年3月期第3四半期実績
及び通期見通し

2019年3月期 第3四半期業績（10月～12月）



	2018/3期 Q3 実績	2019/3期 Q3 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	3,385	3,462	76	2.3%
営業利益	553	512	△40	△7.3%
営業利益率	16.4%	14.8%	△1.6Pt	
経常利益	536	482	△54	△10.1%
経常利益率	15.8%	13.9%	△1.9Pt	
当期純利益	366	332	△34	△9.4%
純利益率	10.8%	9.6%	△1.2Pt	
為替レート AR USD	113.0	112.9	△0.1	△0.1%
EUR	133.0	128.8	△4.2	△3.2%

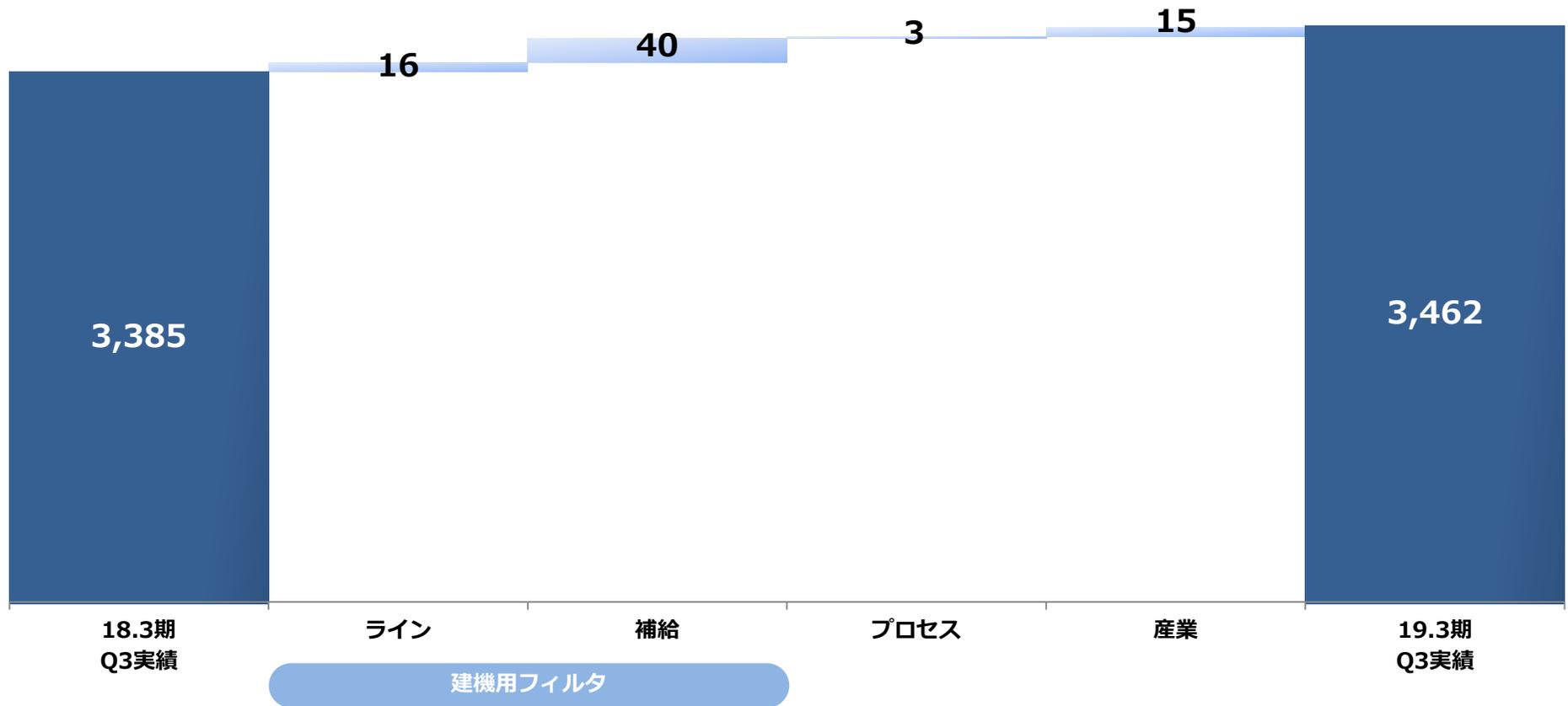
※実績為替レートは期中平均の値です。

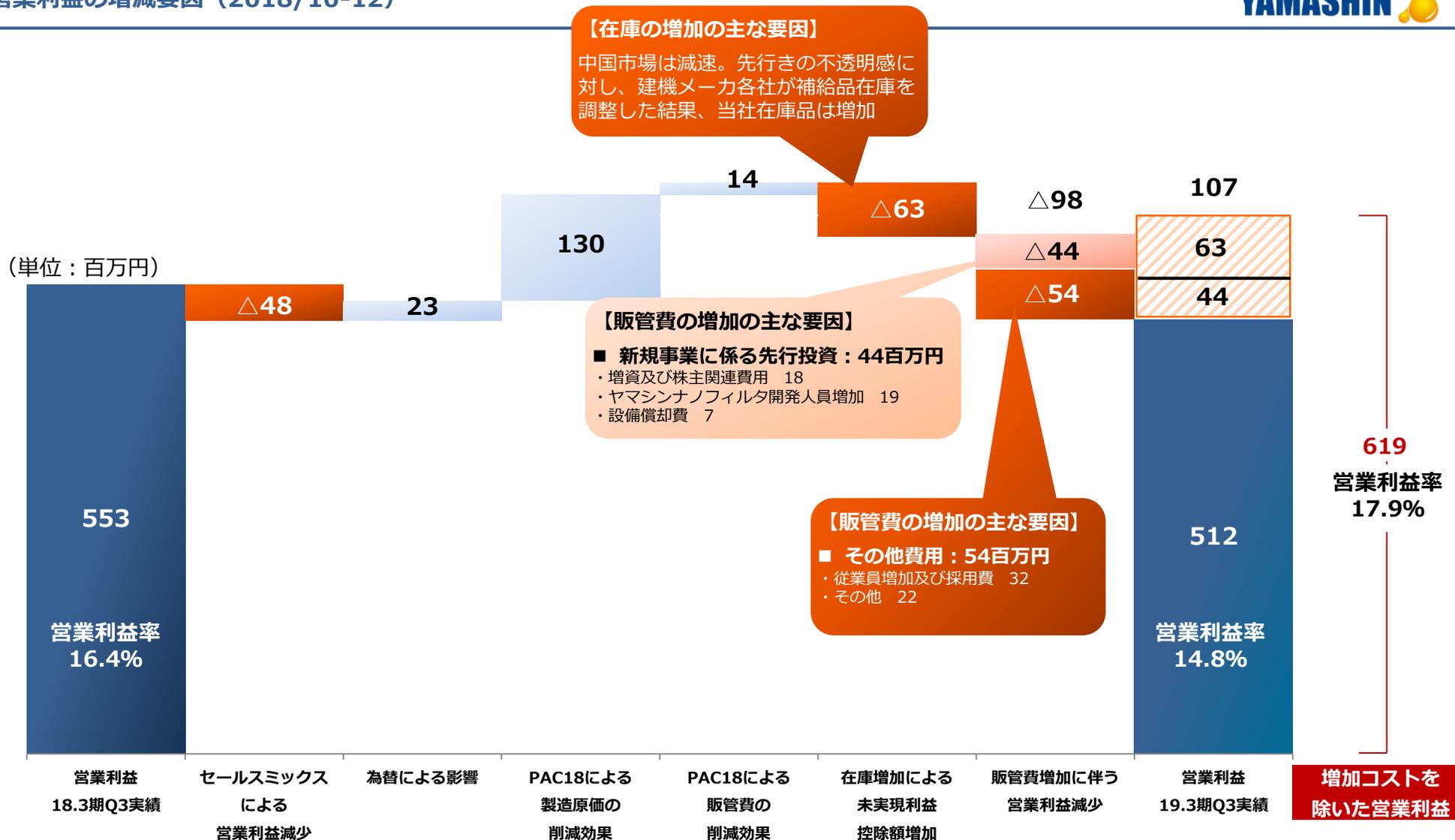
	2018/3期 Q3 実績	2019/3期 Q3 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	3,027	3,084	57	1.9%
ライン品	1,320	1,337	16	1.3%
補給品	1,707	1,747	40	2.4%
産業用フィルタ	131	146	15	11.6%
プロセス用フィルタ	227	231	3	1.7%
売上高合計	3,385	3,462	76	2.3%

(単位：百万円)	2018/3期 Q3 実績		2019/3期 Q3 実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	1,684	49.8%	1,679	48.5%	△4	△0.2%
北米	621	18.3%	535	15.5%	△85	△13.7%
中国	404	11.9%	345	10.0%	△58	△14.5%
アジア	368	10.9%	472	13.6%	103	28.3%
欧州	298	8.8%	427	12.4%	129	43.3%
その他 (中東他)	10	0.3%	1	0.0%	△9	△89.5%
売上高合計	3,385	100.0%	3,462	100.0%	76	2.3%

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(単位：百万円)





※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

2019年3月期 第3四半期 累計業績 (4月~12月)



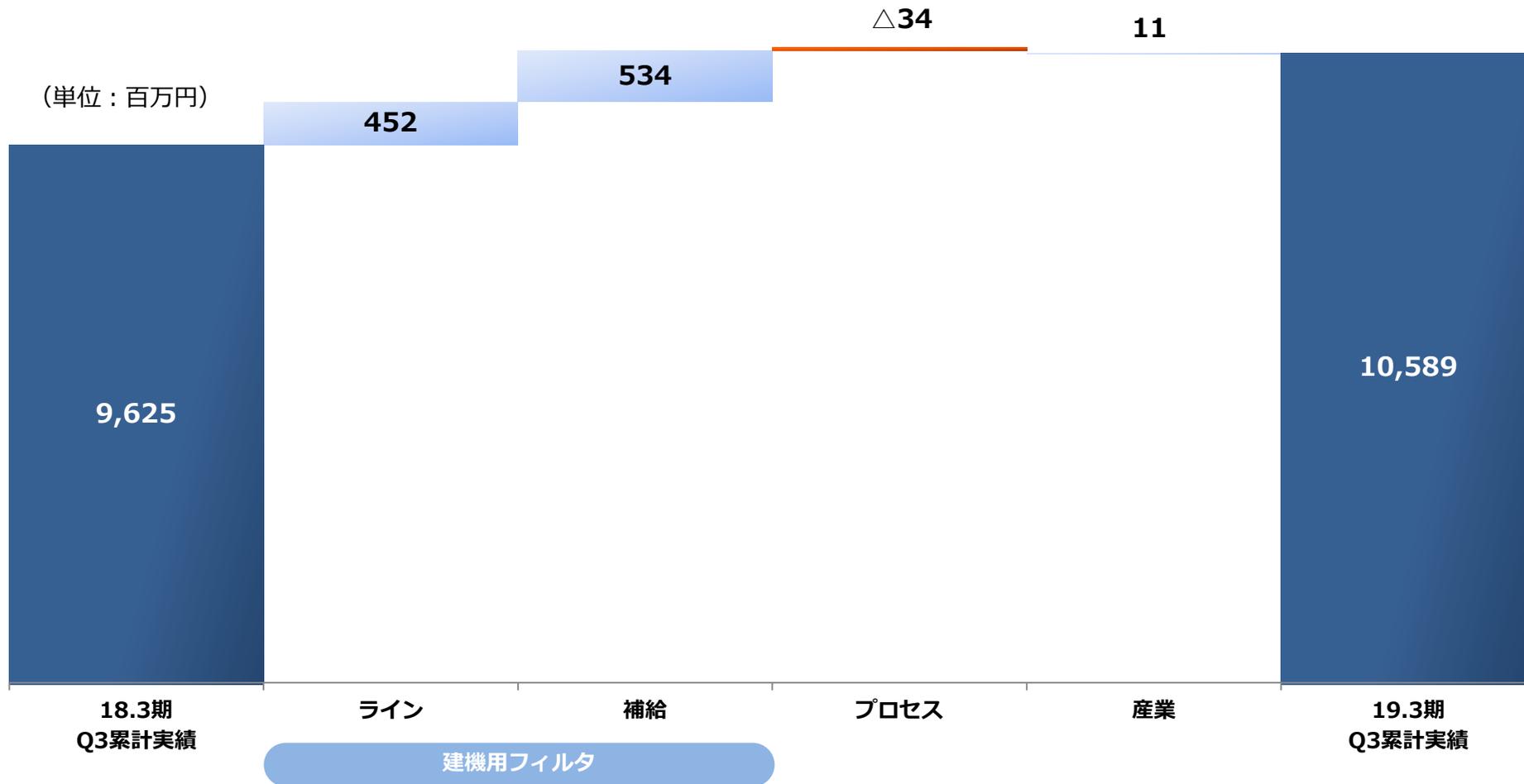
	2018/3期 Q3累計 実績	2019/3期 Q3累計 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	9,625	10,589	964	10.0%
営業利益	1,521	1,597	76	5.0%
営業利益率	15.8%	15.1%	△0.7Pt	
経常利益	1,476	1,558	82	5.6%
経常利益率	15.3%	14.7%	△0.6Pt	
当期純利益	976	1,140	164	16.8%
純利益率	10.1%	10.8%	0.7Pt	
為替レート AR USD	111.7	111.2	△0.6	△0.5%
EUR	128.5	129.5	1.0	0.8%

※実績為替レートは期中平均の値です。

	2018/3期 Q3累計 実績	2019/3期 Q3累計 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	8,544	9,531	987	11.6%
ライン品	3,784	4,237	452	12.0%
補給品	4,759	5,294	534	11.2%
産業用フィルタ	407	419	11	2.9%
プロセス用フィルタ	674	639	△34	△5.2%
売上高合計	9,625	10,589	964	10.0%

	2018/3期 Q3累計 実績		2019/3期 Q3累計 実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	4,822	50.1%	5,025	47.5%	202	4.2%
北米	1,618	16.8%	1,700	16.1%	82	5.1%
中国	1,140	11.9%	1,347	12.7%	207	18.2%
アジア	1,130	11.7%	1,390	13.1%	260	23.1%
欧州	867	9.0%	1,122	10.6%	255	29.4%
その他 (中東他)	46	0.5%	3	0.0%	△43	△93.5%
売上高合計	9,625	100.0%	10,589	100.0%	964	10.0%

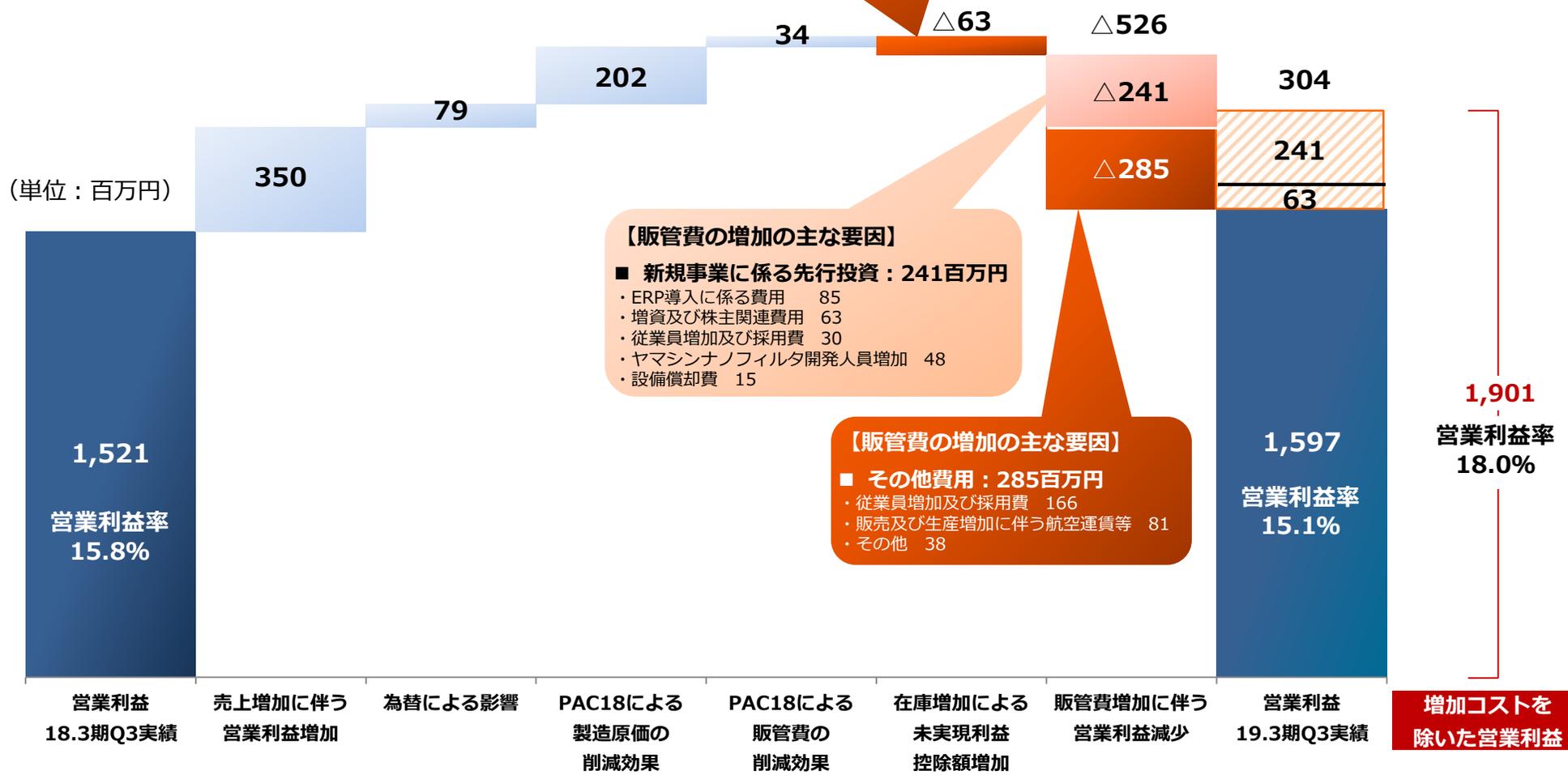
(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます



【在庫の増加の主な要因】
中国市場は減速。先行きの不透明感に対し、建機メーカー各社が補給品在庫を調整した結果、当社在庫品は増加

【販管費の増加の主な要因】
■ 新規事業に係る先行投資：241百万円
・ERP導入に係る費用 85
・増資及び株主関連費用 63
・従業員増加及び採用費 30
・ヤマシンナノフィルタ開発人員増加 48
・設備償却費 15

【販管費の増加の主な要因】
■ その他費用：285百万円
・従業員増加及び採用費 166
・販売及び生産増加に伴う航空運賃等 81
・その他 38

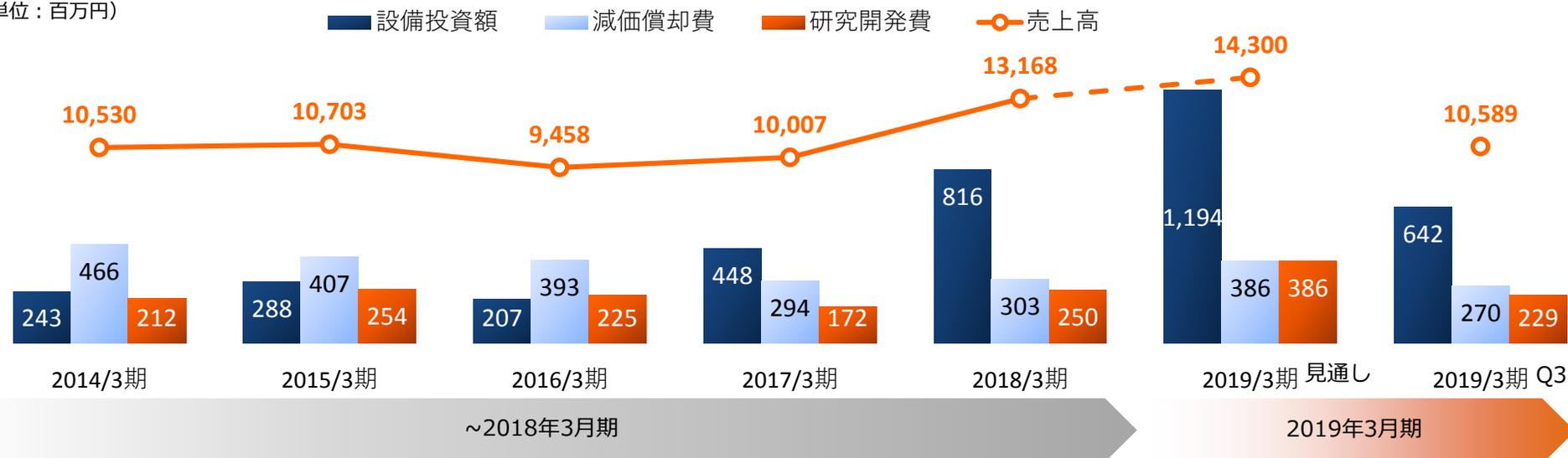


※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

(単位：百万円)	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2019/3期
	実績	実績	実績	実績	実績	通期見通し	Q3実績
売上高	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	14,300	10,589
設備投資額	243	288	207	448	816	1,194	642
構成比%)	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	8.3%	6.1%
減価償却費	466	407	393	294	303	386	270
構成比%)	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	2.7%	2.5%
研究開発費	212	254	225	172	250	386	229
構成比%)	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.7%	2.2%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移

(単位：百万円)



管理部門にとどまらず、現場にまで 企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	経営方針	19.3期部門目標 (action plan)									
※KPI算定の前提 Prv : 2018/3期 年間実績値 Cur : 2019/3期 年間見通し	売上高営業利益率 Prv: 14.5% Cur: 16.8%	売上総利益率 Prv: 46.1% Cur: 48.5%	売上高伸長率 Prv: 31.6% Cur: 8.6%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	事業ポートフォリオ拡大 既存事業の深耕	・新ろ材フィルタ販売 ・セミナー活動実施によるシェアアップ ・新規市場の開拓							
			売上原価率 Prv: 53.9% Cur: 51.5%	購買力強化 歩留り改善	生産・購買	収益性の改善	・PAC18、サプライヤ再編 ・SAP導入、原価低減							
			減価償却費率 Prv: 2.3% Cur: 2.7%	投資計画	経営企画 財務経理	事業ポートフォリオ拡大	・中期経営企画の策定 ・投資回収効果							
		販管費率 Prv: 31.6% Cur: 31.7%	研究開発費率 Prv: 1.9% Cur: 2.7%	テーマの絞り込み 優先順位	開発	事業ポートフォリオ拡大	・新素材の開発 ・IoTの取り組み ・その他技術開発							
			人件費率 Prv: 12.8% Cur: 13.1%	最適な人員構成	人事・総務	人事制度・システムの 確立	・タレントマネジメント 制度策定・運用							
		ROIC Prv: 7.0% Cur: 9.2%	売上債権回転率 Prv: 4.5 Cur: 4.3	債権管理	営業 財務経理	ガバナンス強化	・債権ポジション管理							
								WACC Prv: 2.9% Cur: 7.8%	運転資本回転率 Prv: 4.1 Cur: 3.9	棚卸資産回転率 Prv: 8.1 Cur: 7.6	適正在庫の設定	生産 営業	ガバナンス強化	・ワーキングキャピタル のモニタリング ・適正在庫水準の管理
										仕入債務回転率 Prv: 5.4 Cur: 5.0	債務管理	購買 生産	ガバナンス強化	・ワーキングキャピタル の改善
		ROE Prv: 10.6% Cur: 9.6%	投下資本回転率 Prv: 0.8 Cur: 0.8	有形固定資産回転率 Prv: 9.0 Cur: 6.6	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	事業ポートフォリオ拡大	・投資回収効果最適化						
									無形固定資産回転率 Prv: 37.3 Cur: 31.7	投資計画	経営企画 財務経理	事業ポートフォリオ拡大	・投資回収効果最適化 ・SAP活用	
		MAVY's Prv: 4.1% Cur: 1.4%	ROA Prv: 8.1% Cur: 8.1%											

KPI: 売上高営業利益率
売上総利益率
売上伸長率

Key Success Factor (KSF)

新製品開発
純正率向上

責任部署

営業・開発

経営方針

事業ポートフォリオ拡大
既存事業の深耕

19.3期部門目標
(action plan)

新ろ材フィルタ販売
セミナー活動実施による
シェアアップ
新規市場の開拓

今期の目標

新ろ材
フィルタ販売

セミナー活動実施による
シェアアップ

新規市場の開拓

具体的取り組み

19.3期 上期

19.3期 下期/20.3期～

ハイブリッドフィルタ
供給開始

新素材用設備新設

純正率向上セミナー実施

農業用断熱資材：供給開始

エアフィルタ：サンプル製作

量産化目標

- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC18

Promptly
迅速

Activated
かつ効果的な

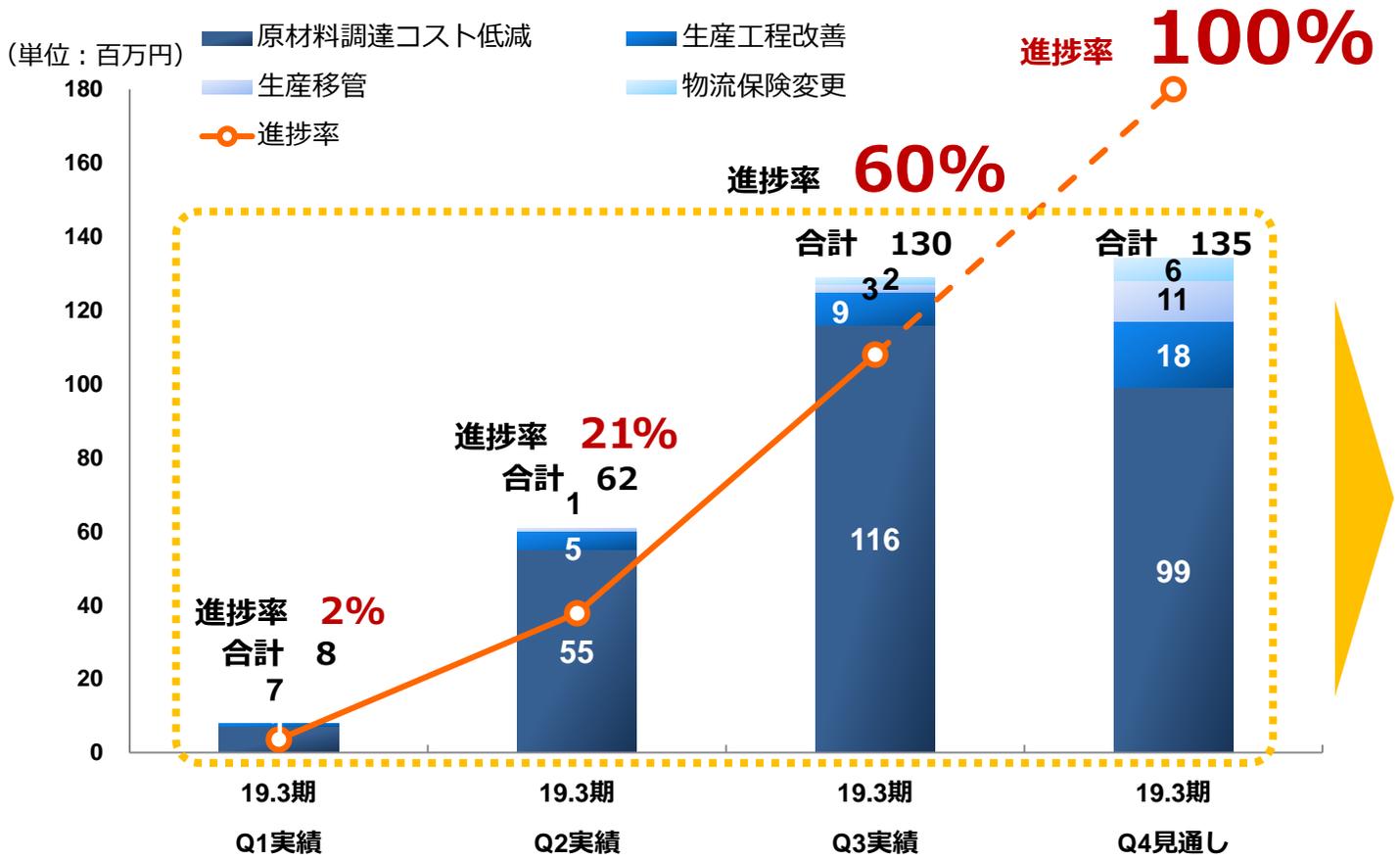
Cost reduction
コスト削減計画

20**18**

背景	科目	アクションプラン	削減目標額 (年間目標)	上期 実績	3Q 実績	進捗率 (年間)
強固な経営基盤 利益創出体制 の確立	製造原価	生産の効率化 サプライチェーン 強化等	3.3億円	71,456 (千円)	130,614 (千円)	60%
	販売管理費	営業経費、 管理費の削減	0.5億円	20,029 (千円)	13,842 (千円)	68%

19.3期Q3は原材料調達コスト低減に注力し、年間進捗率は大幅に向上

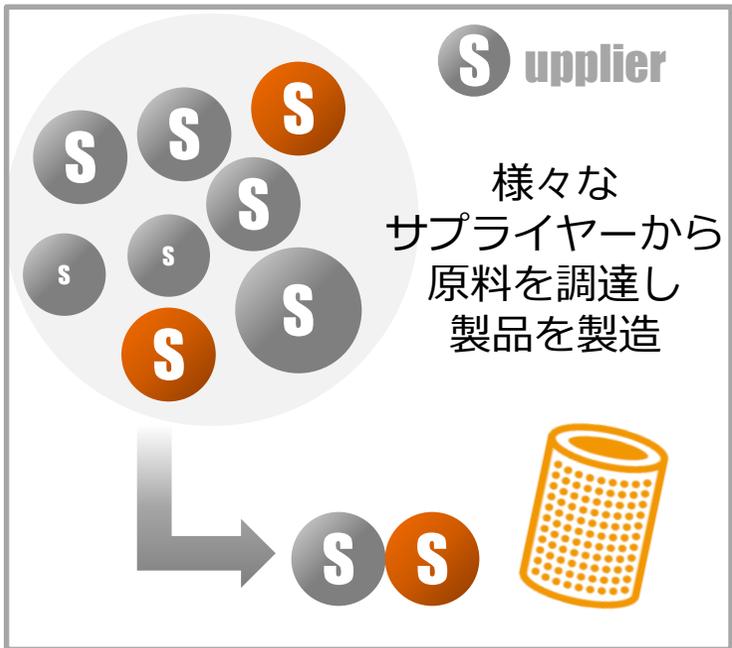
PAC18	原材料調達コスト低減	主要原材料の購入先変更及びVA提案による購入材料変更、購入単価低減
	生産工程改善	製造技術改善による原材料費低減及び作業工数低減
	生産移管	海外外注生産を実施し生産地最適化
	物流保険変更	サプライチェーン及び調達材料物流保険の変更による諸掛低減



原材料調達 コスト低減



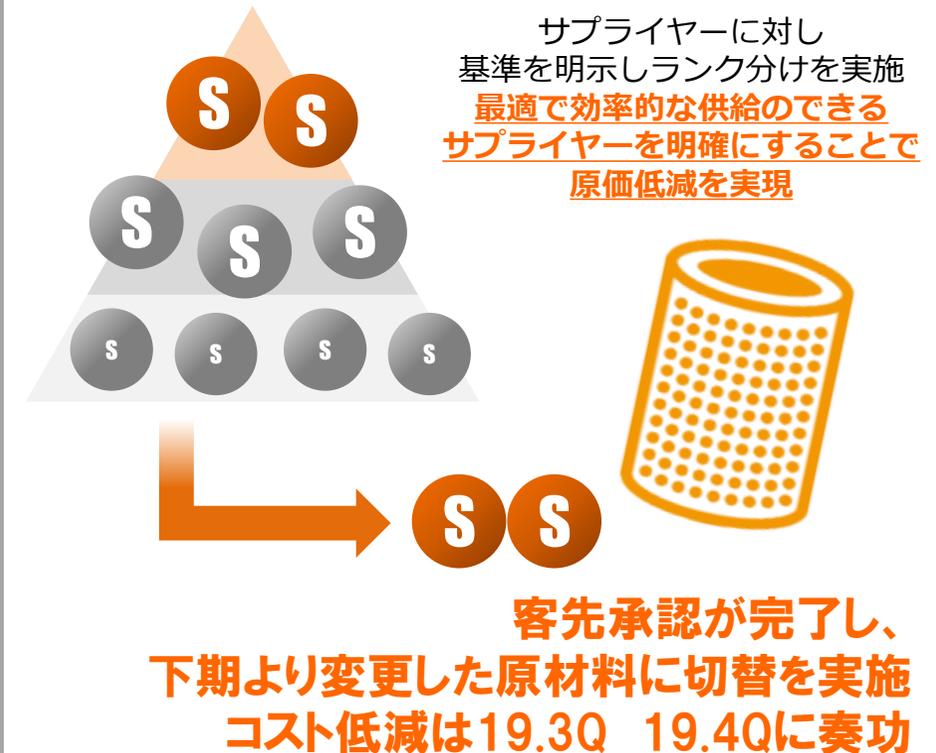
- ◆ 主要原材料の購入先変更及びVA提案による
購入材料変更、購入単価低減



VA(Value Analysis)提案とは：

取引先へ既存製品の品質を落とさず、原材料の組み合わせ等変更によりコスト改善を提案すること。

② 主要原材料の購入先変更



● PAC18の施策は、下期に大きく利益貢献する

生産工程改善



- ◆ 機械化の実施及び製品の構造変更実施により
原材料使用量の低減及び作業工数の低減を実現

生産移管



- ◆ 生産地の最適化による、製造原価及び購入単価の低減を実現

物流保険変更



- ◆ 輸入原材料に係る物流保険の選定を下期より
特定の物流業者・保険業者との契約を取り交わすことで、
諸掛単価の低減を実現

2019.3期

1Q

2Q

3Q

4Q

準備期間

原材料変更

原価低減実現

2019年3月期 通期業績予想



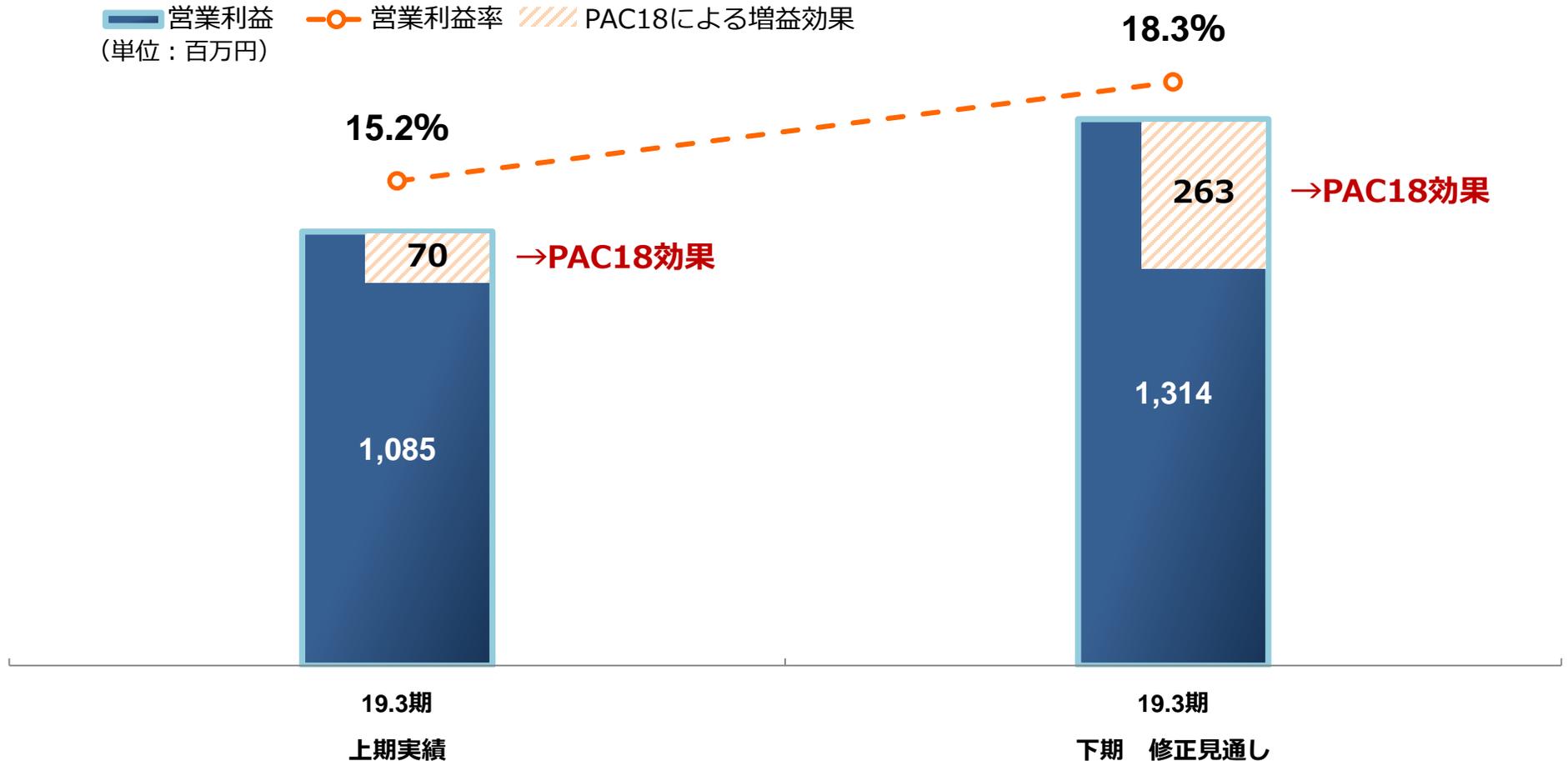
	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 期初 見通し	*2019/3期 修正 見通し	19/3期初見通し 対 19/3期修正見通し
	金額	金額	金額	金額	金額
(単位：百万円)					
売上高	10,007	13,168	14,000	14,300	300
売上総利益	4,463	6,074	6,740	6,940	200
売上総利益率	44.6%	46.1%	48.1%	48.5%	0.4Pt
販売管理費	3,505	4,163	4,390	4,540	150
販管比率	35.0%	31.6%	31.4%	31.7%	0.3Pt
営業利益	957	1,910	2,350	2,400	50
営業利益率	9.6%	14.5%	16.8%	16.8%	-
経常利益	934	1,824	2,340	2,370	30
経常利益率	9.3%	13.9%	16.7%	16.6%	△0.1Pt
当期純利益	640	1,249	1,600	1,700	100
純利益率	6.4%	9.5%	11.4%	11.9%	0.5Pt
為替レート AR USD	108.4	110.9	110.0	110.0	
EUR	118.8	129.7	135.0	135.0	

*2018年11月5日発表

	2019/3期 Q1 実績	2019/3期 Q2 実績	2019/3期 Q3 実績	*2019/3期 下期 修正見通し	*2019/3期 修正 見通し
	金額	金額	金額	金額	金額
(単位：百万円)					
売上高	3,492	3,635	3,462	7,172	14,300
売上総利益	1,662	1,713	1,622	3,564	6,940
売上総利益率	47.6%	47.1%	46.9%	49.7%	48.5%
販売管理費	1,141	1,148	1,109	2,249	4,540
販管比率	32.7%	31.6%	32.0%	31.4%	31.7%
営業利益	521	564	512	1,314	2,400
営業利益率	14.9%	15.5%	14.8%	18.3%	16.8%
経常利益	524	551	482	1,293	2,370
経常利益率	15.0%	15.2%	13.9%	18.0%	16.6%
当期純利益	421	386	332	891	1,700
純利益率	12.1%	10.6%	9.6%	12.4%	11.9%
為替レート AR USD	109.1	110.2	111.2	110.0	110.0
EUR	130.1	129.6	129.5	135.0	135.0

*2018年11月5日発表

● PAC18目標達成により、収益性の改善を図る



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

	2018/3期 実績		2019/3期 期初 見通し		*2019/3期 修正 見通し		19/3期初見通し 対 19/3期修正見通し	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
建機用フィルタ	11,768	89.4%	12,564	89.7%	12,906	90.2%	342	2.7%
ライン品	5,342	40.6%	5,567	39.7%	5,718	40.0%	151	2.7%
補給品	6,425	48.8%	6,996	50.0%	7,187	50.2%	191	2.7%
産業用フィルタ	526	4.0%	537	3.8%	566	4.0%	29	5.4%
プロセス用フィルタ	873	6.6%	898	6.5%	827	5.8%	△71	△7.9%
売上高合計	13,168	100.0%	14,000	100.0%	14,300	100.0%		

*2018年11月5日発表

	2018/3期 実績		2019/3期 期初 見通し		*2019/3期 修正 見通し		19/3期初見通し 対 19/3期修正見通し	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	6,443	48.9%	6,545	46.8%	6,753	47.3%	207	3.2%
北米	2,201	16.7%	2,468	17.6%	2,491	17.4%	22	0.9%
中国	1,753	13.3%	2,149	15.4%	2,048	14.3%	△100	△4.7%
アジア	1,522	11.6%	1,771	12.7%	1,850	12.9%	79	4.5%
欧州	1,204	9.2%	1,064	7.5%	1,153	8.1%	88	8.3%
その他（中東他）	42	0.3%	0	0.0%	2	0.0%	2	
売上高合計	13,168	100.0%	14,000	100.0%	14,300	100.0%	300	2.1%

*2018年11月5日発表

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

中間配当2.5円、期末配当3.5円の年間6.0円に増配

	17.3期	18.3期	19.3期 期初予想	*19.3期 修正予想
1株当たり 配当金	2.4円※1	3.6円※1	5.0円	6.0円
DOE	2.3%	1.9%	1.9%	2.4%
総還元性向※2	25.6%	21.6%	23.8%	26.5%

注) 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております

※1 2017年3月期、2018年3月期の配当額については、参考値として上記株式分割後の金額を記載しております

※2 総還元性向= (配当総額+自己株式取得+株主優待) ÷ 当期純利益

*2018年11月5日発表



II

“建機市場を取り巻く環境”

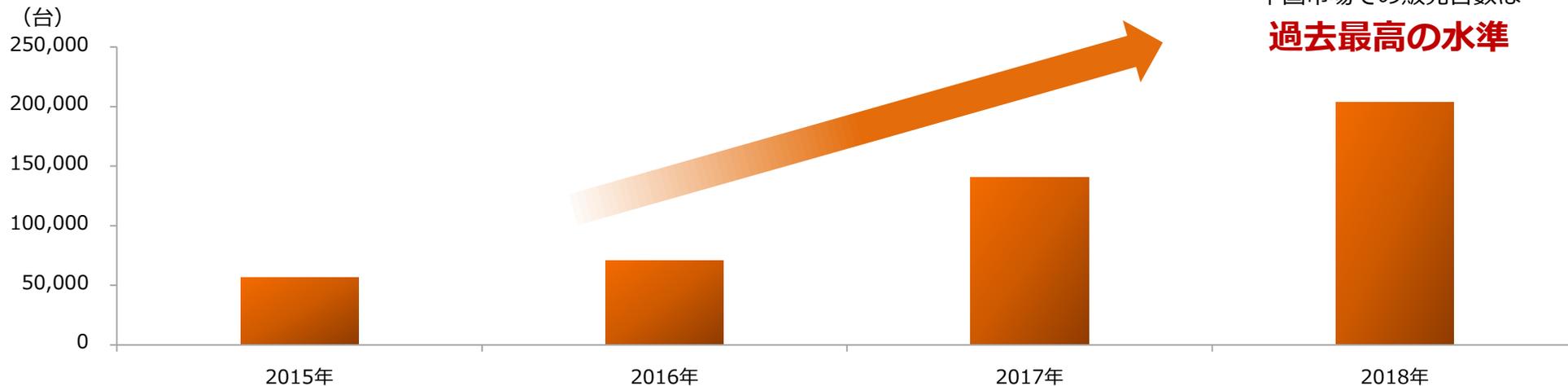
【総括】

- 中国において景気減速の兆しが見えており、公共投資も鈍化
- 上記に伴い建機稼働時間も減少傾向が続く。先行き不透明感を睨み、各建機メーカーは補給品在庫を調整

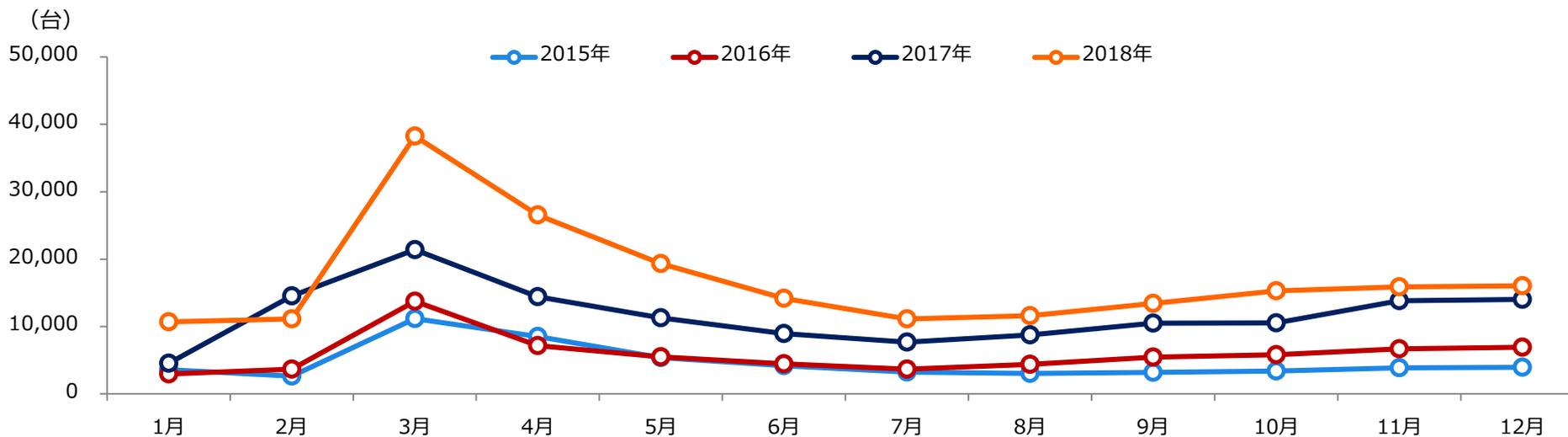
	過去	現状	今後の見通し
中国	不動産投資鈍化により 大幅な減産	景気減速感が出始め、公共投資も鈍化	インフラ整備の投資拡大を見込む
東南 アジア	鉱山機械投資が低迷するも、 インフラ投資は堅調	インドネシアを中心に 全体で需要増加	中国とともに堅調に推移を見込む
北米	インフラ投資により 需要回復	資源エネルギー開発・インフラ投資の 進行のなか、更なる需要増を見込む	中間選挙後も公共投資の増加を 見込む
日本	堅調な国内インフラ投資により 需要増加	堅調な企業収益を背景に 需要は増加	今後も堅調さを維持すると見込む
欧州	軟調に推移	ドイツをはじめとした 主要国の需要増加	堅調な需要を見込む

年度別販売推移（年計）

注）1月から12月の数値を合計

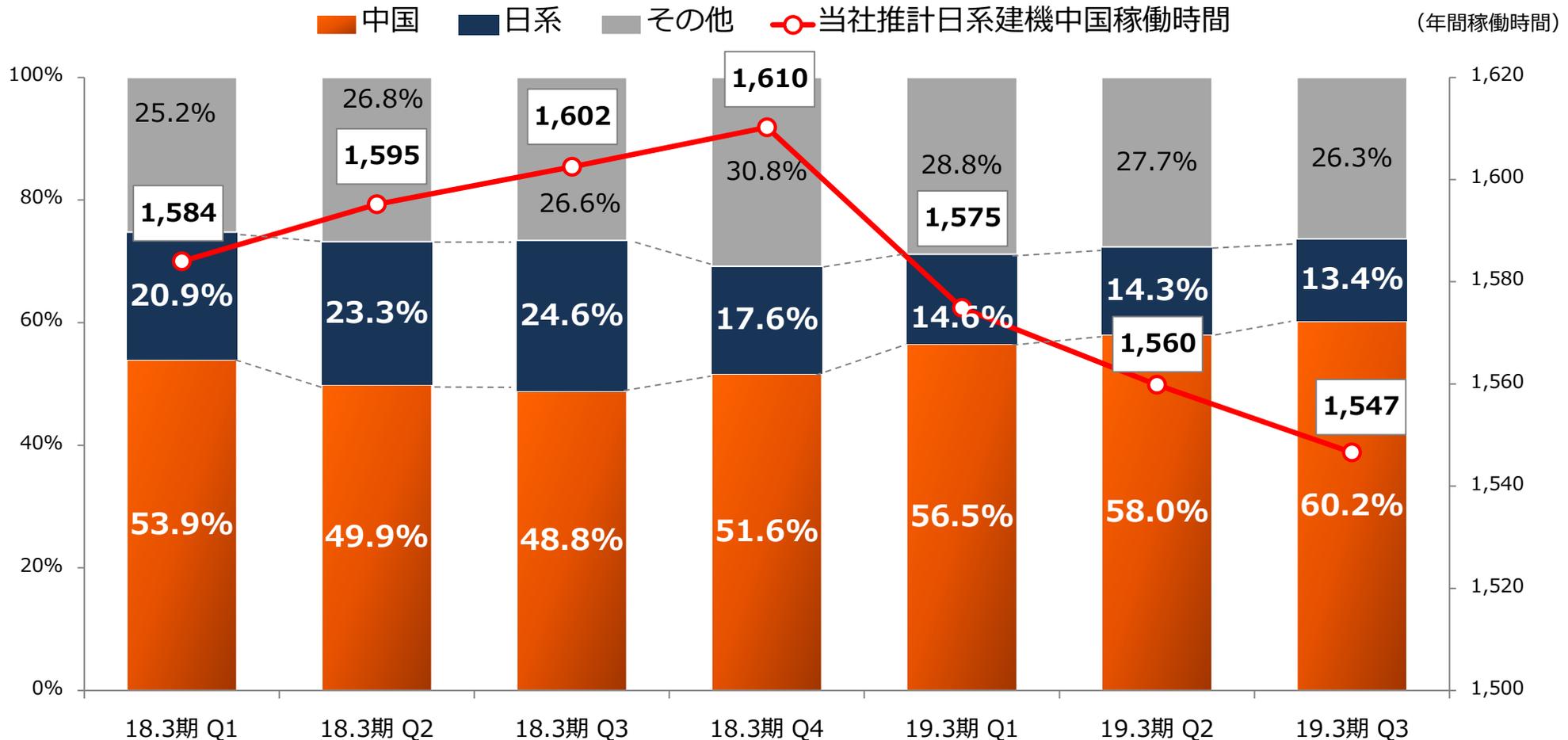


年度別販売推移（月別）

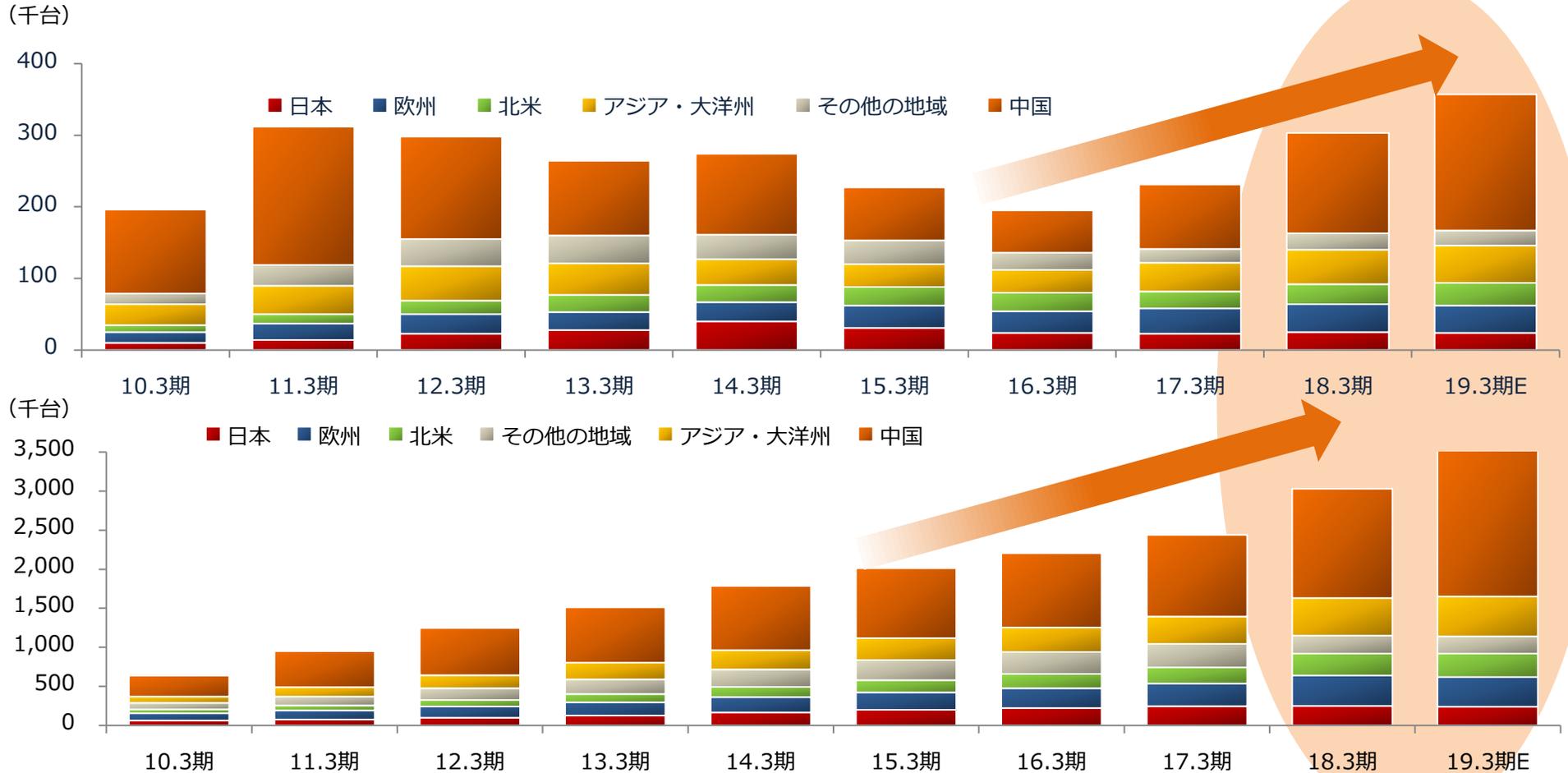


日系メーカーのシェアが下がり、中国ローカルメーカーのシェアがUP

中国市場 販売シェア推移



減速感は出つつも、依然として拡大が見込まれる



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

		主な取り組み	進捗状況
建機 フィルタ	ライン品	故障予知、IoT・ICT技術の提案	大手メーカー向けにSWIFTROCK・ライフセンサ搭載提案中。実機試験継続中
		新素材を使ったリターンフィルタの提案	新素材を使ったリターンフィルタ量産供給開始
		中国建機メーカーへの拡販	品質重視の方針を取るメーカー向けに新素材のフィルタの提案中
	補給品	セミナー展開によって非純正品からのシェア向上	市場の特性に合わせたセミナー活動の充実・強化（東南アジア・中国）
産業 フィルタ		製品ラインナップの拡充・強化	SWIFTROCKの搭載提案等 新素材を活用した製品の開発・提案中
プロセス フィルタ		製品ラインナップの拡充・強化	新規パートナーを開拓中
新領域		Yamashin Paradigm Shiftプロジェクト開始	エアフィルタ、農業、建材、アパレル分野へ提案・商談中



Ⅲ 今後の戦略について

建機市場は今後3～5年間は堅調推移 100億円の資金を元手に目標達成に向け積極的に挑戦

事業ポートフォリオの拡大

建機向け油圧フィルタに依存しない
次の成長の柱を育てていく

【3本の柱】

建機フィルタ ✂ プロセス・産業フィルタ ✂ 新素材の展開

筋肉質な企業体質の構築

Multipleな生産体制構築
グローバル・サプライチェーン再構築

PAC18によるコスト低減
R&D拠点向けの大型投資計画
主要マーケットでの生産拠点開設投資

研究開発センターの新設

30億円

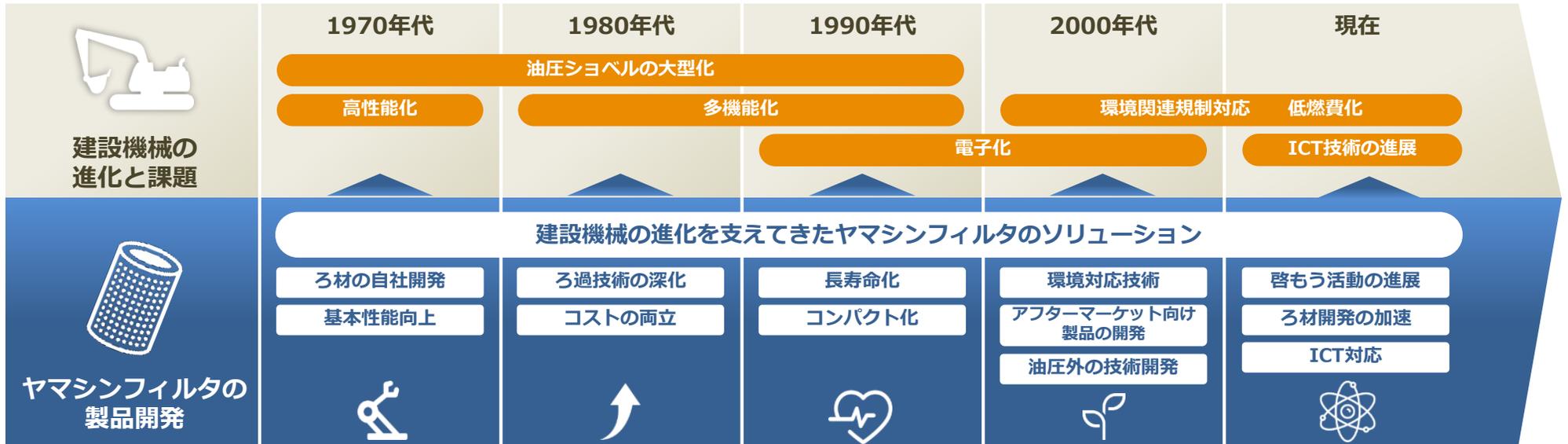
新素材の量産と
既存製品の生産性向上

30億円

M&Aを含む資本/業務提携

40億円

建設機械の進化を支え続けてきた「提案力」と「設計力」



布

はじめは帆布製品の縫製加工から

紙

フィルタメーカーとして自社でろ紙を開発

ハイブリッド

紙・ガラス繊維を組み合わせ認知を広める

ガラス

ガラス繊維を用い市場を席卷し高いシェアを獲得

ハイブリッド

ガラス・ナノ繊維を組み合わせた次世代のグローバルスタンダード

ナノ

19.3期より供給開始

YAMASHIN Nano Filter 製品ロゴ



YAMASHIN
Nano Filter

Concept

ナノレベルの粒径物質を「濾す」
素材の特性を表現したロゴマークです。
「水」や「風」など、環境に優しい製品特性を
イメージした配色を行っています

建機用フィルタ

2019年1月より新素材を使ったフィルタの量産供給を開始



ハイブリッドフィルタ

ガラス繊維×ナノファイバー

従来のものより、フィルタのライフが3倍になり、交換回数が減る結果、廃棄物を削減。建機寿命延長を実現

環境への負荷の
軽減に寄与

各建機メーカーモデルチェンジ時の採用に向け、提案中



さらに「新素材×IoT」で付加価値をアップ、マーケットシェアアップを狙う

稼働時間3倍

新素材

YAMASHIN
Nano Filter



「故障予知」を実現

清浄度センサ

- ✓ 油・水の清浄度を測定
- ✓ 低コスト
- ✓ コンパクト設計

SWIFTROCK™

ライフセンサ

どのくらいフィルタに
ゴミが詰まっているか
段階的な
モニタリングを行う

量産化技術を生かし、様々な分野へ 「YAMASHIN Nano Filter」を展開

必要分野には
M&Aの実施を検討

Phase 3
中期的

Phase 1
現在

Phase 2
2020.3期

建材・バイオ分野などへ
展開 (例)



建機・エアフィルタ
農業用資材分野
への進出

自動車・アパレル
分野への展開



農業用資材

多層断熱資材にナノファイバーを使用→断熱性効果向上

化石燃料の使用量減少、CO2削減効果が見込まれ、地球温暖化問題解決に貢献

ビニールハウス内
断熱資材

【現状】

- ・顧客仕様に合わせたサンプル提供済み
- ・相互にサンプルが仕様に合っているかを確認中
- ・実際のビニールハウスでのテストに向けて調整中



エアフィルタ

繊維径のコントロールにより、 高品質なる過精度フィルタ量産化の実現が可能となる

① 大手A社様



【要望】

- ・ガラス繊維で対応しているものの置換

【現状】

- ・仕様値達成に向けサンプル作製中
- ・製品化へ向けた試作品の性能アップ
- ・安定生産に向けた設備の改善
- ・来期量産化に向けた準備

② 大手B社様



【要望】

- ・ガラス繊維で対応しているものの置換

【現状】

- ・更なるファイバー間の緻密さ・極細化必要
- ・線維化時の雰囲気温度の高温化が必要
- ・別途、ロングライフ化エアフィルタとしてエレクトレット加工した素材を評価予定

その他

繊維径のコントロールにより、 高品質なる過精度フィルタ量産化の実現が可能となる

① 自動車内装用途



車両用吸音・防音材

【要望】

- ・ 現行品の性能(低周波)以上の吸音材開発

【現状】

- ・ 吸音効果のデータ取得と傾向の把握
- ・ 要求仕様を充足するサンプル作製
- ・ 製品化の具体的な加工、管理方法の検討

② 生活用品用途



保温・保冷バック等

【要望】

- ・ 現行品よりも高い保温性・保冷性

【現状】

- ・ ナノファイバーの断熱効果データ取得
- ・ 試作品の作製と実験データ取得

③ アパレル用途



Nanoジャケット等

【要望】

- ・ 薄くて軽い素材開発(断熱材・ダウン代替)
- ・ 現行品+@の特性を付加する

【現状】

- ・ ナノファイバーの断熱効果データ取得
- ・ 試作品の作製と実験データ取得

- 生産拠点の見直し・再編によりMultiple な生産体制の構築を実施、安全で最適なサプライチェーンを構築



目的・GOAL

クロスソーシング
生産体制の構築



顧客ニーズに
柔軟に 대응



購買力強化



事業継続計画
(BCP)



世界トップシェアを誇る建機用フィルタ事業

建機用フィルタ事業は、インフラ整備の投資拡大及びアフターマーケットの強さを背景に持続的な成長が見込まれる

売上及び利益面で大きな貢献が予想される新規事業

多様な用途への活用が期待されるYAMASHIN Nano Filterが成長ドライバー



参考資料

① 当社基本情報

当社グループの概要

当社グループは、創業以来、一貫してフィルタの専門メーカーとして実績を重ねてきました
当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを製造しております
当社グループは、各フィルタの「ろ材」の開発及び製品設計から製造をグループ内で一貫して行い、建設機械、産業機械等の業界向けに販売を行っております

建機用フィルタ分野

建機用フィルタとは、建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタのことで、あらゆる建機に搭載されています。



フィルタエレメント
(建機用)

産業用フィルタ分野

産業用フィルタとは、様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタのことであり、工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械に用いられています。



ラインフィルタ
(船舶用)

プロセス用フィルタ分野

プロセス用フィルタとは、顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタのことであり、電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界に用いられています。

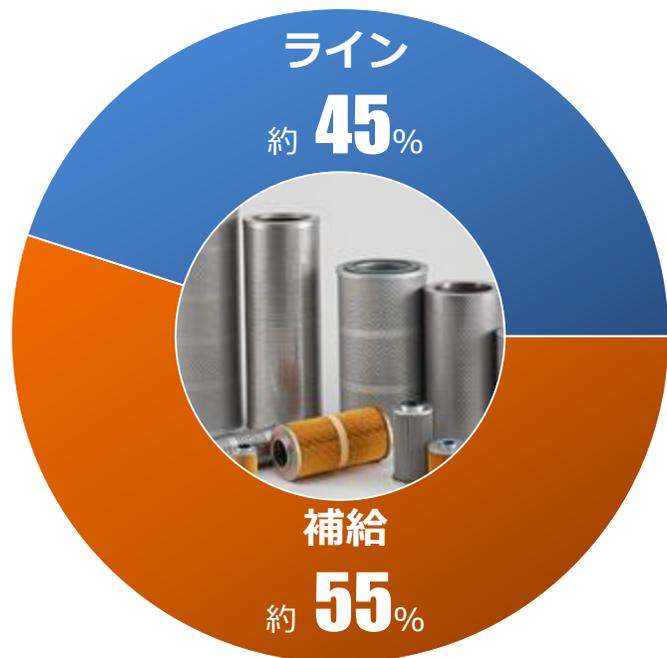


不織布フィルタ
(電子部品用)

補給はストックモデル

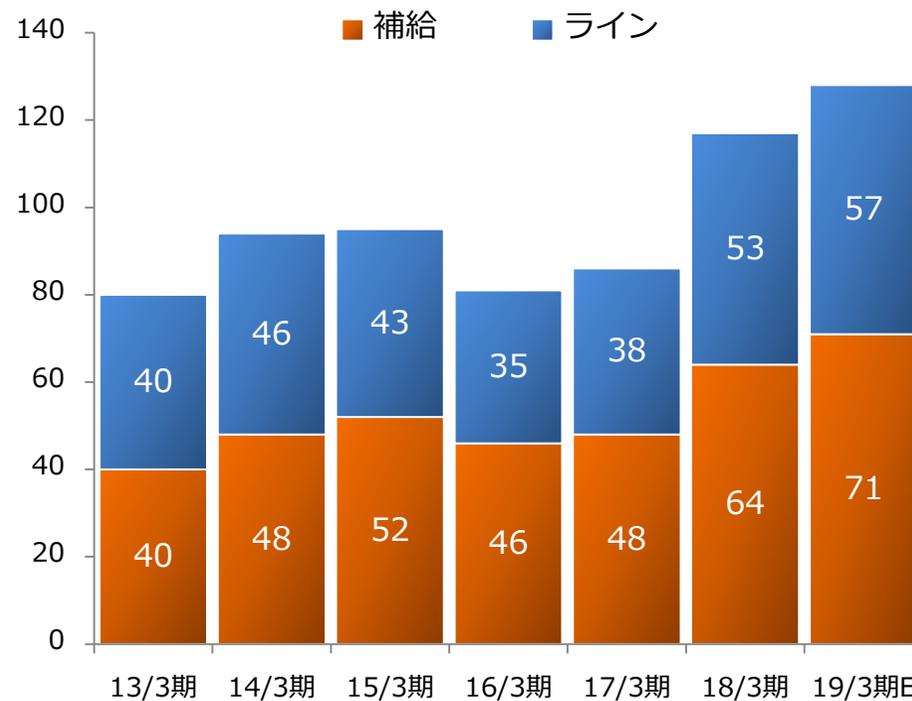
建機の稼働台数の蓄積により、安定した需要拡大が見込める

18.3期 建機用フィルタ 売上構成



補給・ラインの売上高推移

(単位：億円)



建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

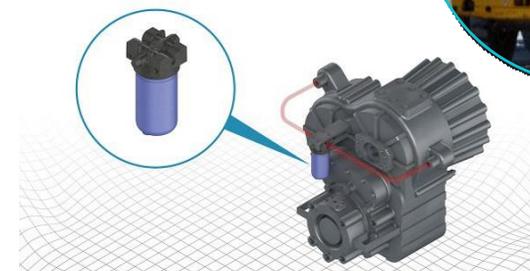
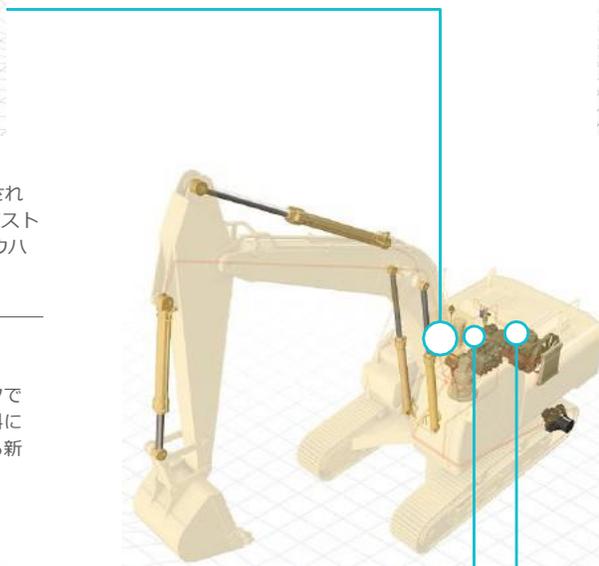
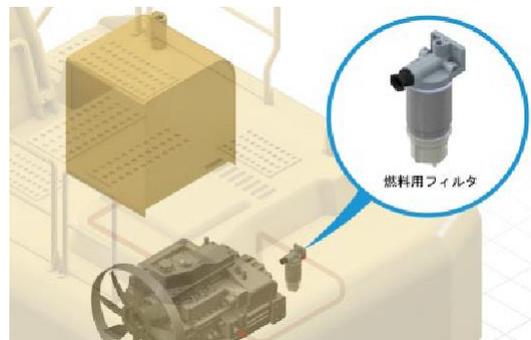


油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

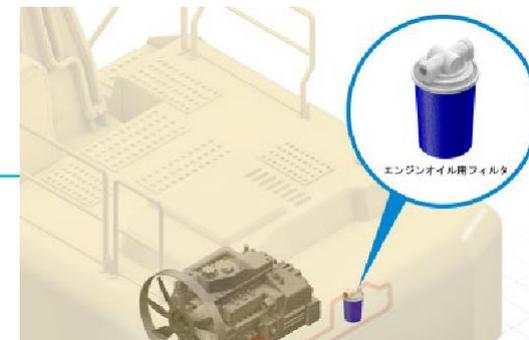


トランスミッション用

トランスミッション（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。トランスミッションは複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「ろ材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」に分かれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC18 (Promptly Activated Cost reduction 2018)**
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

WEAKNESS (弱み)

- 展開事業領域が限定されている
- 売上高の9割が建機用フィルタに依存
- 生産拠点の一極集中

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 建設機械市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達

育成事業



プロセス/産業
フィルタ

基盤事業 (成長)



建機用
フィルタ



STRATEGY
MATRIX

構造改革事業

基盤事業 (安定)

新素材開発後

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大**

WEAKNESS (弱み)

- 売上高の9割が建機用フィルタに依存

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除

育成事業

プロセス/産業
フィルタ

新素材事業

構造改革事業

STRATEGY
MATRIX

基盤事業 (成長)

建機用
フィルタ

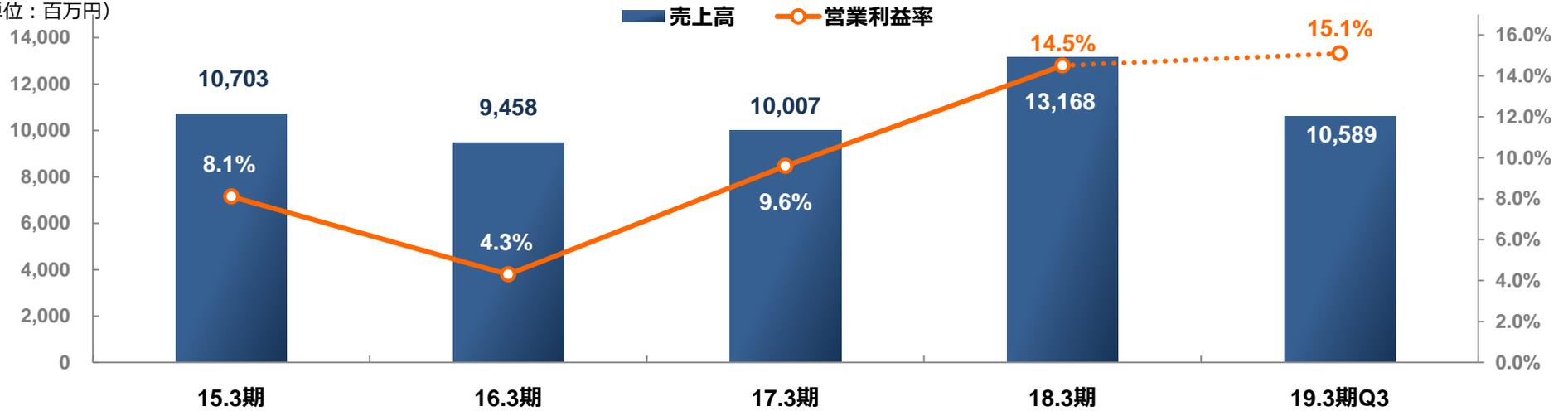
基盤事業 (安定)



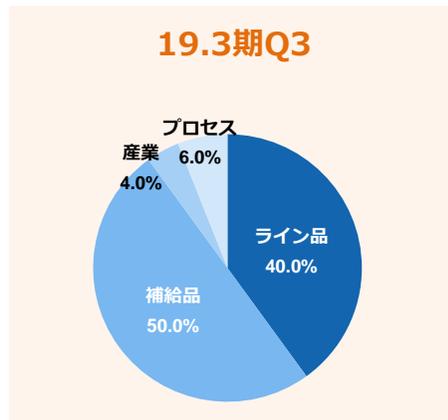
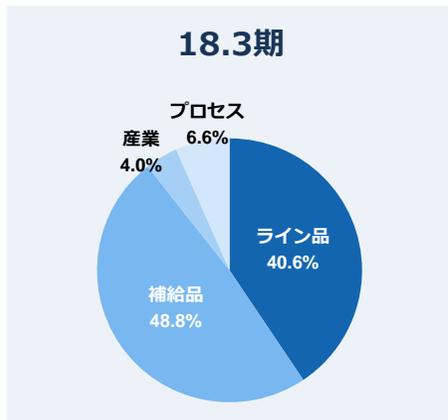
参考資料
②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

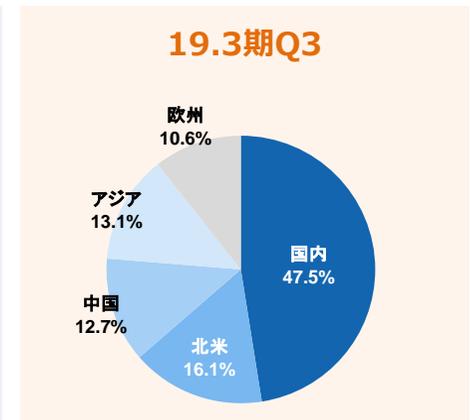
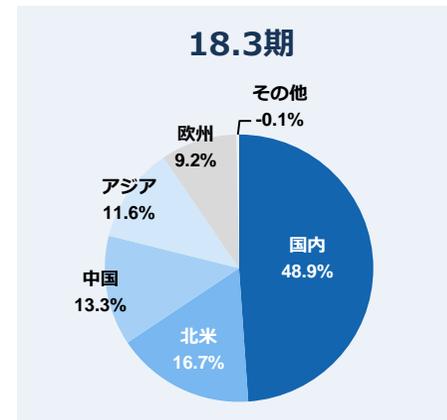
(単位：百万円)



製品別売上高

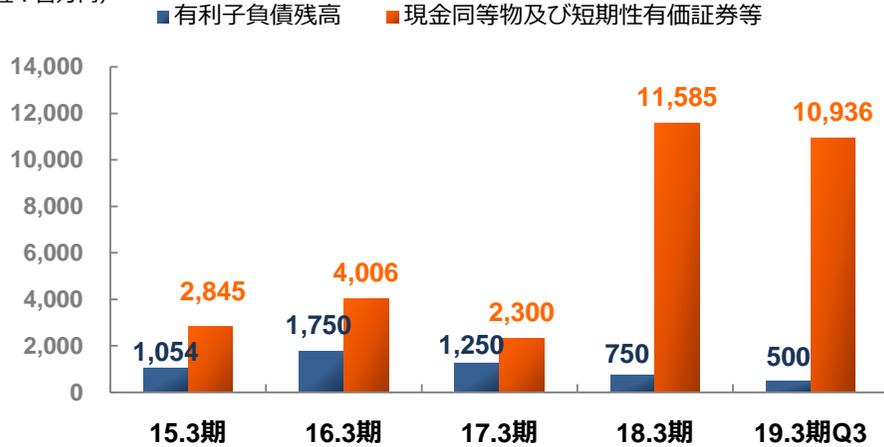


地域別売上高

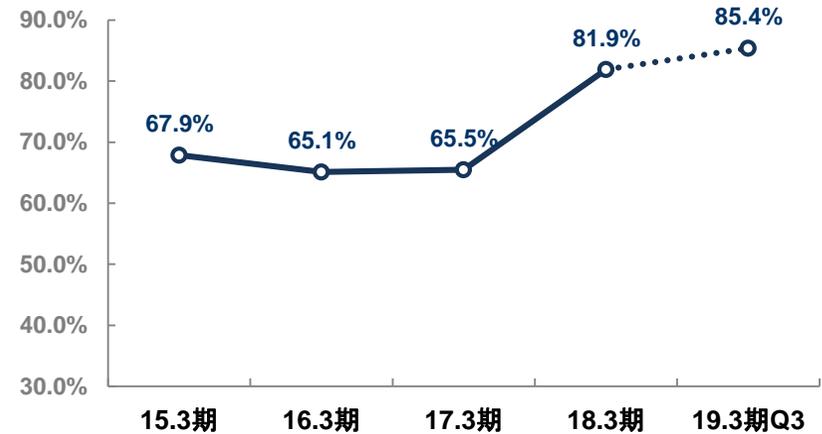


有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高

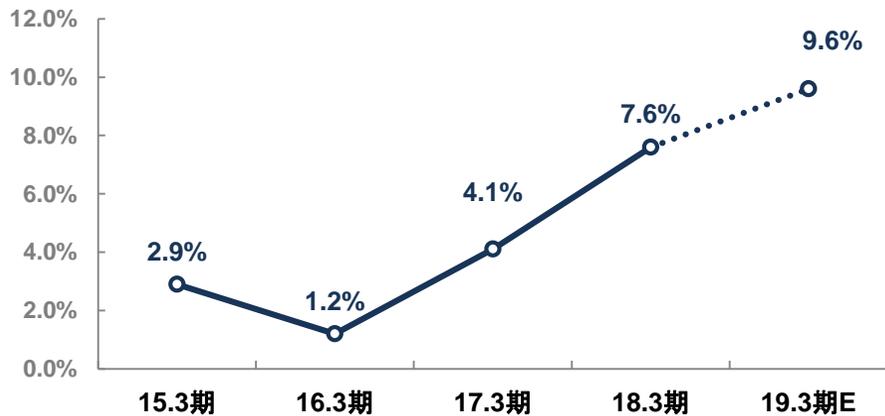
(単位：百万円)



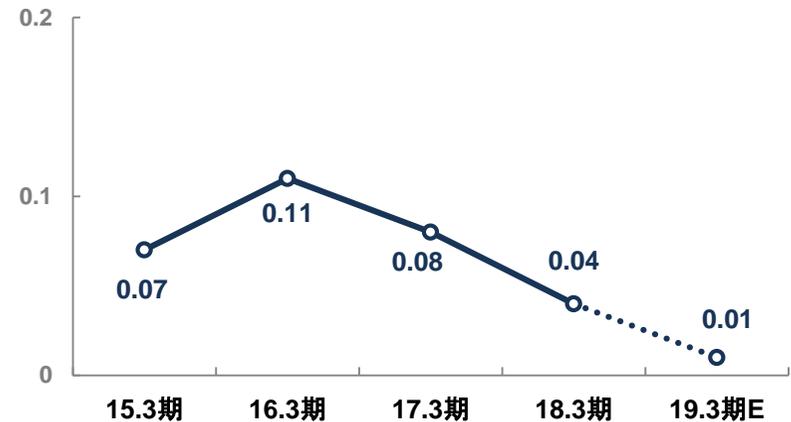
株主資本比率



ROE



D/Eレシオ

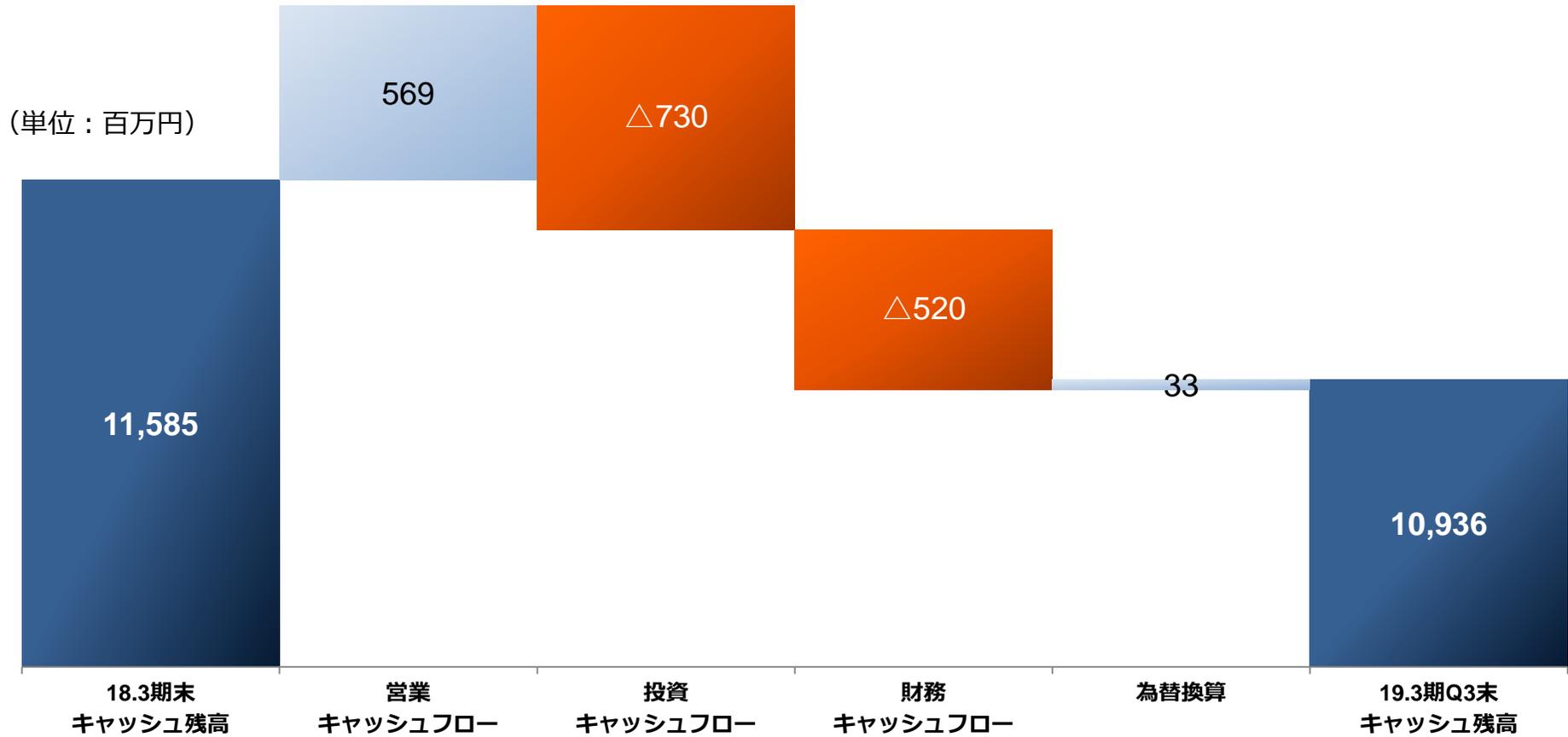


※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

(単位：百万円)									
	2018/3期 期末	2019/3期 Q3	増減額	増減率	2018/3期 期末	2019/3期 Q3	増減額	増減率	
流動資産	16,977	16,845	△ 132	△0.8%	流動負債	2,969	2,384	△ 585	△19.7%
現金及び預金	11,619	10,936	△ 683	△5.9%	支払手形及び買掛金	1,517	1,511	△ 6	△0.4%
受取手形及び 売掛金	3,365	3,194	△ 171	△5.1%	1年以内返済社債・長借	350	200	△ 150	△42.9%
商品・製品& 原材料・貯蔵品	1,799	2,416	617	34.3%	その他	1,101	672	△ 429	△39.0%
その他	193	297	104	53.9%	固定負債	797	658	△139	△17.4%
固定資産	3,787	3,978	191	5.0%	社債	400	300	△ 100	△25.0%
有形固定資産	1,653	1,935	282	17.1%	退職給付に係る負債	175	186	11	6.3%
無形固定資産	412	354	△ 58	△14.1%	その他	222	171	51	23.0%
投資その他資産	1,721	1,688	△33	△1.9%	純資産合計	16,999	17,781	782	4.6%
資産合計	20,765	20,823	58	0.3%	負債純資産合計	20,765	20,823	58	0.3%

*自己資本比率 81.9% 85.4%



- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約2.5百万円増益



取引通貨の7割はJPY

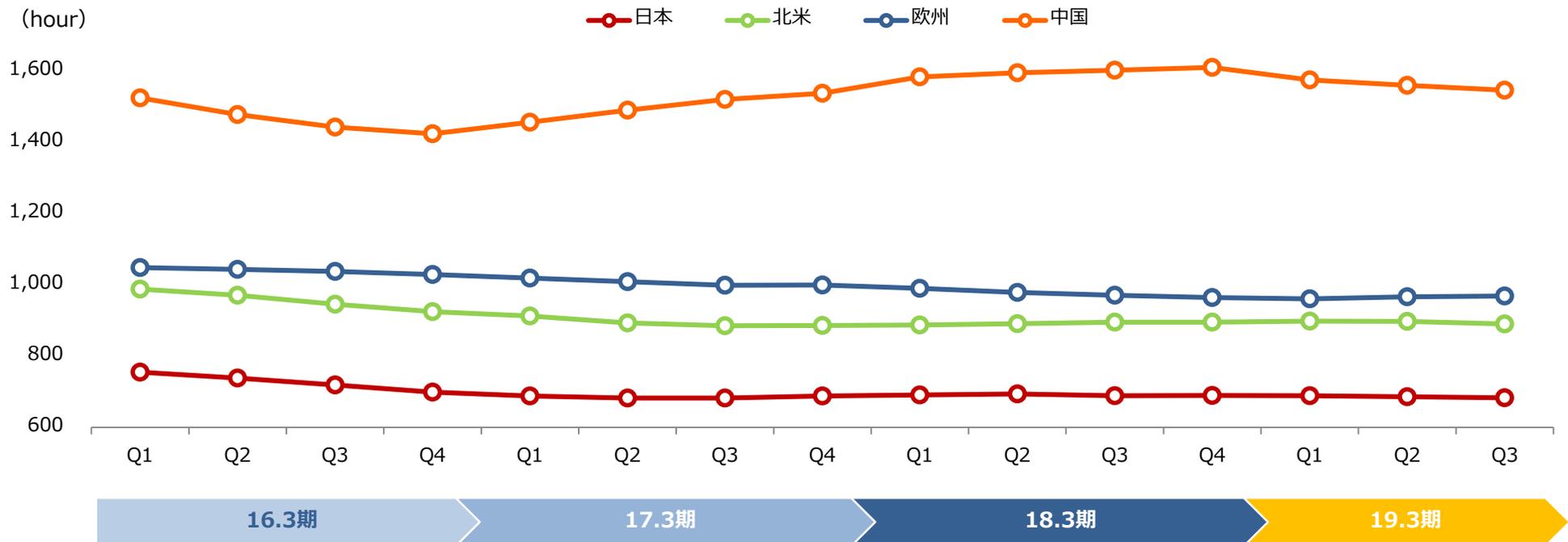
USDは為替マリーを実現

(単位：百万円)

Currency	Incoming			Outgoing			Net 各通貨	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	円換算	構成比	各通貨	円換算	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)
JPY	¥13,800.0	¥13,800.0	71%	\$12,500.0	¥12,500.0	68%	¥1,300.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$42.5	¥4,686.9	24%	\$40.7	¥4,488.4	24%	\$1.8	¥110.3	¥99.25	¥-11.03	¥-19.85	¥121.31	¥11.03	¥19.85
EUR	€ 5.1	¥662.2	3%	€ 3.2	¥415.5	2%	€ 1.9	¥129.9	¥116.87	¥-13.0	¥-24.67	¥142.84	¥12.99	¥24.67
PHP	PP0.0	¥0.0	0%	PP456.7	¥954.5	5%	PP-456.7	¥2.1	¥1.88	¥-0.2	¥95.45	¥2.30	¥0.21	¥-95.45
THB	฿68.30	¥232.2	1%	฿20.20	¥68.7	0%	฿48.10	¥3.4	¥3.06	¥-0.3	¥-16.35	¥3.74	¥0.34	¥16.35
Total	-	¥19,381.4	100%	-	¥18,427.1	100%	-	-	-	-	¥34.57	-	-	¥-34.57

中国の景気減速に伴い、 Q3建機稼働時間は減少

建機1台あたり稼働時間推移（年計）



出所：野村証券アナリストレポートより当社作成



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp